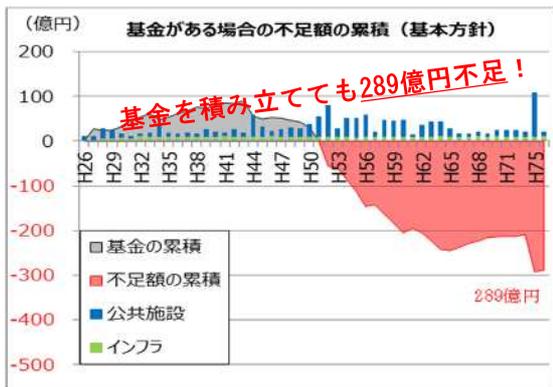


# 可児市公共施設のあり方提言書 要旨

将来予想される**累積不足額289億円**を解消する方策を提言します。



## 次の視点で考えました

公共施設の利用制限を緩和  
稼働率の低い施設の複合集約と用途変更  
利用者が使いやすい施設配置  
施設の運営は、できるだけ民間へ  
ニーズが高ければ拡充も検討

## 各施設への提言

### 保育子育て施設

当面の保育園不足は民間施設で  
瀬田幼稚園の認定こども園化  
児童センターの配置見直し  
くれよんで就学後のケアも

### 小中学校

児童生徒の減少に伴い適正規模で建替え  
小規模校の集約  
余裕教室を、キッズクラブ、生涯学習、  
子育てサロンなどに活用

### アール

経済的な設備へ更新することによる  
維持管理費の縮減  
市民優先の検討と利用料金の  
見直し

### 老人福祉センター

年齢制限の緩和と多目的利用  
娯楽施設（入浴施設など）の再検討  
と有料化  
デイサービスを民間へ

### 公民館

社会教育施設の位置付けを見直し利用制限を緩和  
稼働率の低い部屋の有効活用  
高齢者、子どもの居場所づくり  
地域住民による施設の運営  
同地区の公民館等を集約

### 福祉センター、Lポート

福祉センターは貸館機能を見直し、  
児童福祉、障がい者福祉を強化  
Lポートを民間へ移転

### 消防団車庫

旧消防団車庫（倉庫）の廃止  
公民館へ複合

### 図書館、歴史文化施設

図書館の建替えと民間による運営  
図書館は福祉センターや郷土歴史館との複合を検討  
歴史文化施設の観光政策への戦略的な活用

### スポーツ施設

B&Gプールは更新時に廃止を検討

## コスト縮減と基金目標

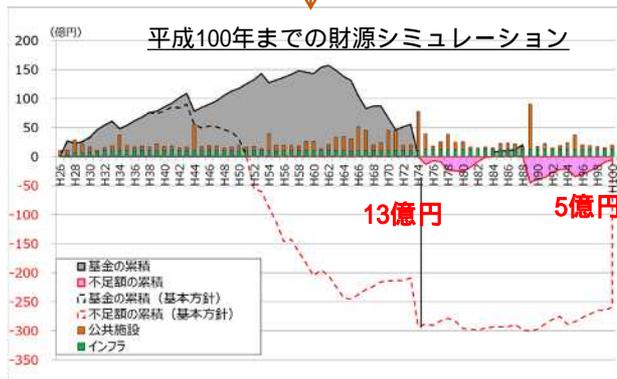
### コスト縮減方法

施設の耐用年数を60年間から75年間へ長寿命化  
施設規模を将来人口減少率に合わせて、20.7%縮小  
ニーズに合わない施設を複合集約

### 基金の積み立て目標

平成62年までに基金を157億円積み立てることを提案します。

275億円のコストダウンが可能です。



コスト縮減と基金の積み立てにより、効率的な行財政運営を目指しましょう！